

# 平成16年3月期第1四半期 決算説明会

2003年7月30日

沖電気工業株式会社

<http://www.oki.com/jp>

## 本日のご説明内容

1. 四半期決算の開示について
2. 平成16年3月期第1四半期の概要
3. セグメント別第1四半期および中間期の状況
4. 平成16年3月期業績予想および補足情報

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## 当社の四半期業績は 売上高変動が大きい

### 【売上高変動要因】

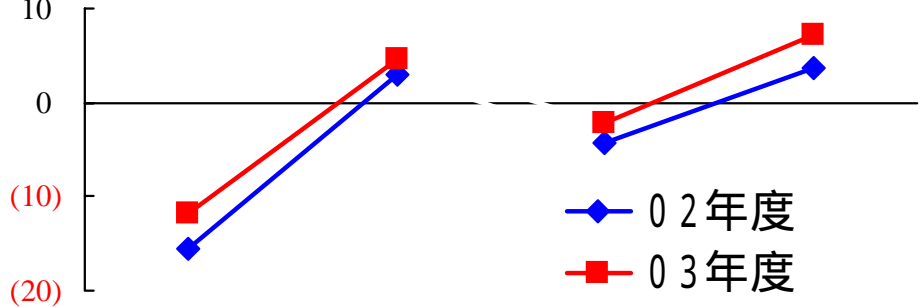
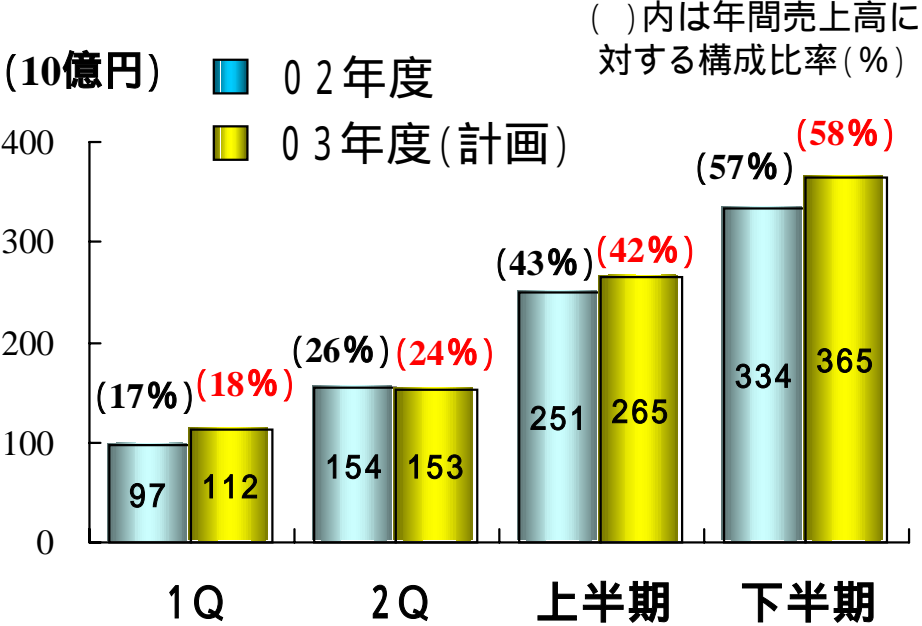
➤ 当社の売上構成として国内の官公庁、通信キャリア、金融機関向け売上比率が高いため期末（第2、第4四半期）特に第4四半期に売上が集中

また、国内の一般企業向けシステム商品も、設備としての購入が多く、顧客予算の関連で売上が期末に集中

➤ 売上高の変動に伴い、営業利益も同様の傾向を示す（1Q、3Qは開発投資期間、2Q、4Qに収益化）

今後とも売上の早期化、平準化および  
売上債権の早期回収に注力する

### 売上高推移



### (%) 営業利益率

第3次構造改革の成果により、売上高は前年同期比15.3%増加  
情報、通信、デバイス、その他の全セグメントの収益が前年同期比で改善

## ハイライト

- 注力事業分野の売上拡大により、**連結売上高は前年同期比148億円増(15.3%)の1,118億円**
- 固定費の削減・変動費化等により、**営業損益は前年同期比19億円改善の131億円**
- 為替差損益等営業外収支の改善により**経常損益は44億円改善し141億円**
- **当期損益は構造改革推進による特別損失が発生したが、前年同期比13億円改善の111億円**



(金額については億円未満を四捨五入で表記) 4

## ■ 第1四半期比較連結P/L

(金額単位:億円)

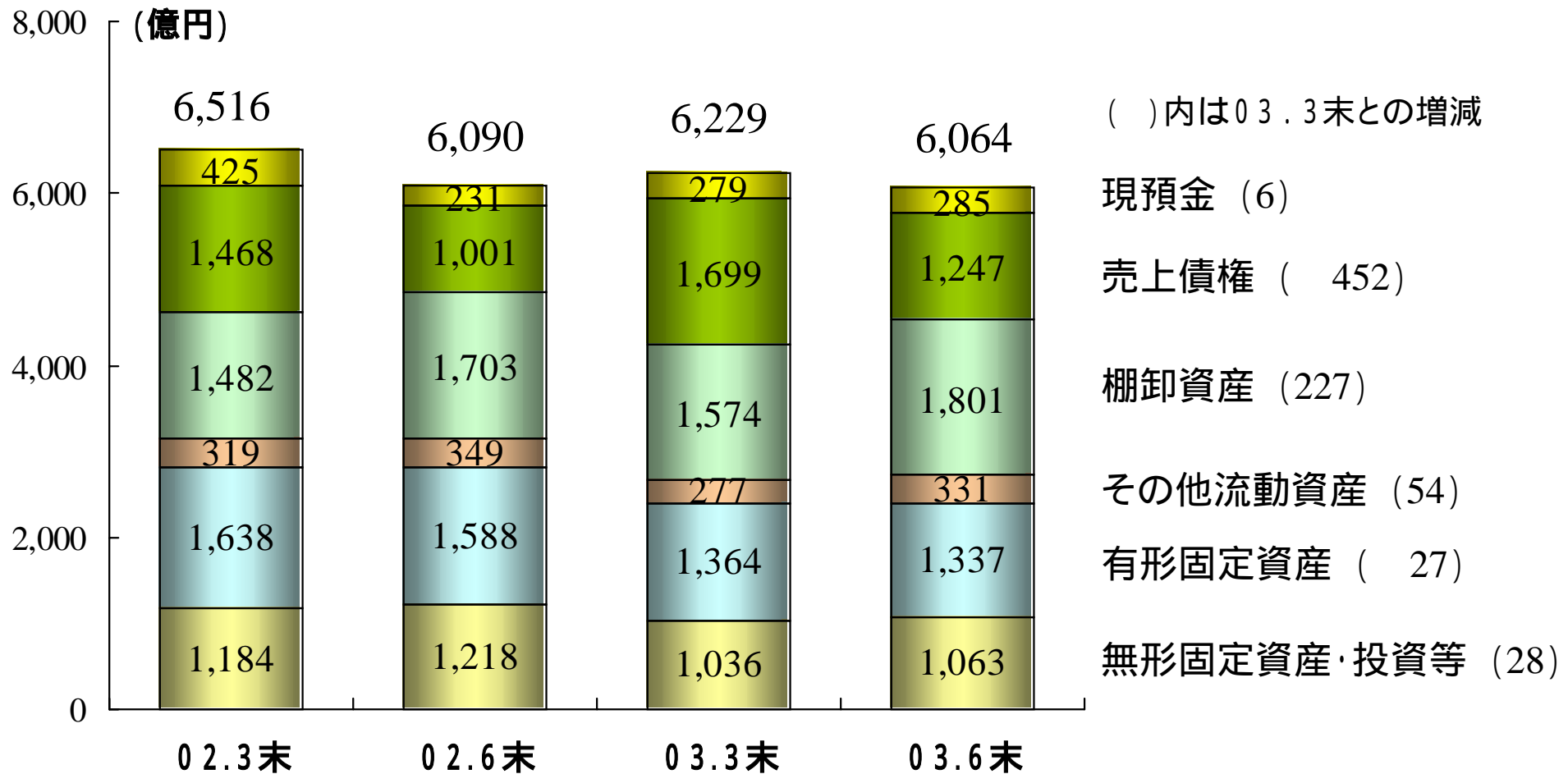
	02/1Q	03/1Q	差異(増減)
売上高	970	1,118	148
(売上原価率)	(82.5%)	(80.2%)	(2.3%良化)
売上原価	800	897	97
(販管費比率)	(33.0%)	(31.5%)	(1.5%低下)
販管費	320	352	32
営業利益	150	131	19
営業外収支	35	10	25
経常利益	185	141	44
特別利益	3	0	3
特別損失	13	15	2
税引前利益	195	156	39
法人税等	71	45	26
当期純利益	124	111	13

- 売上高は情報(+70億)を中心に各セグメントとも増加
- 構造改革による固定費圧縮等により売上原価率は2.3%改善
- 売上増加に伴い、変動販管費が増加(売上高販管費比率は低下)
- 営業外収支はユーロ高により為替差益が発生(前年同期は差損)
- 構造改革推進に伴う割増退職金等の特別損失が発生

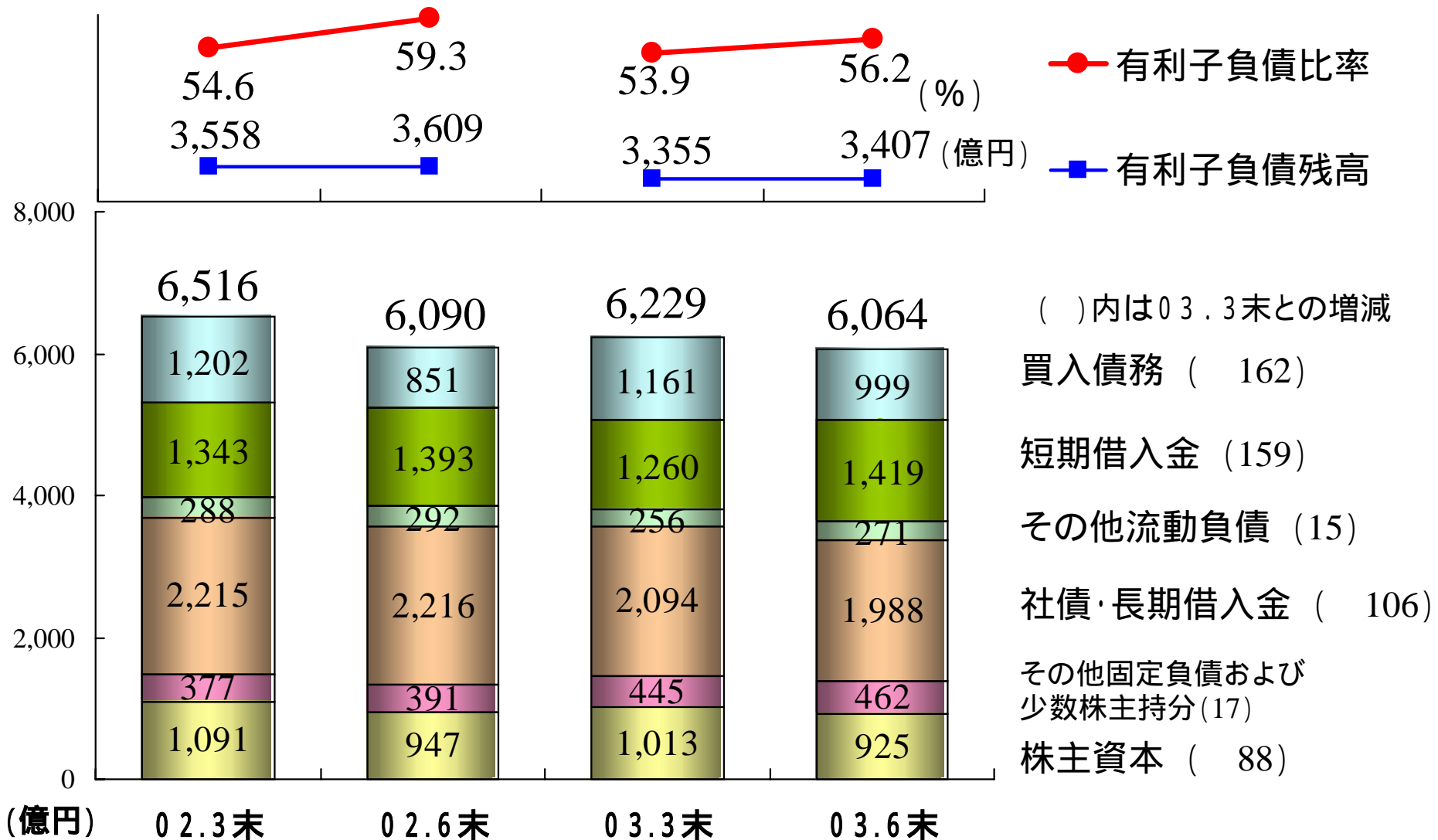
【平均為替レート】

	02/1Q	03/1Q
USD	127.1	118.5
ユーロ	116.6	134.7

- 03.3末の売上債権の回収は順調に推移、03.3末対比452億円減少
- 棚卸資産は第2Q以降の売上に対する生産準備で03.3末対比227億円増加



- 4月に普通社債77億円を償還、社債・長期借入金は106億円減少
- 賞与資金等への資金充当のため短期借入金は159億円増加(CPを含む)



注) 短期借入金にCPを含む(その他流動負債から組み替えている)

(金額については億円未満を四捨五入で表記)

## ● フリーキャッシュフローは前年同期比190億円の良化

(金額単位:億円)

	02/1Q	03/1Q	増減	備考
営業キャッシュフロー	159	10	149	
税金等調整前当期純利益	195	156	39	
減価償却費	106	78	28	
運転資金の増減	1	139	138	売上増による仕入れ債務の増加 売掛金、棚卸資産は前年並み
その他	71	71	0	
投資キャッシュフロー	71	30	41	
設備投資支払額	61	31	30	設備取得時期による差異
その他投資活動	10	1	11	
<b>フリーキャッシュフロー(+)</b>	<b>230</b>	<b>40</b>	<b>190</b>	
財務キャッシュフロー	59	48	11	
社債償還	0	77	77	4月に普通社債77億円償還
長短借入金等の増減	59	125	66	CP発行による継ぎ資金
<b>キャッシュフロー計(+ +)</b>	<b>171</b>	<b>8</b>	<b>179</b>	
現金同等物等の期末残高	277	303	26	

(金額については億円未満を四捨五入で表記)

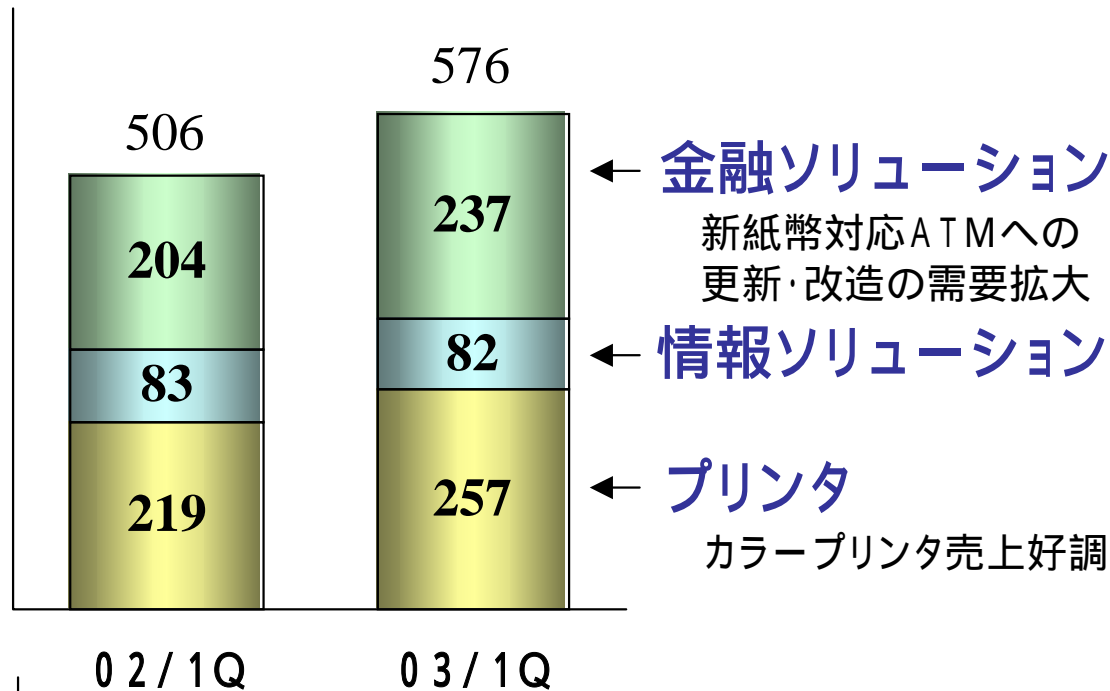
【金額単位:億円】		02/1Q	03/1Q	増減	備考
情報	売上高	506	576	+70	ATM、カラープリンタ堅調
	営業利益	38	26	+12	売上増、対ユーロ円安
通信	売上高	138	166	+28	光伝送関連(ATM-PON)売上増
	営業利益	32	28	+4	
デバイス	売上高	255	272	+17	音源LSI、LCDドライバ売上増
	営業利益	50	48	+2	光コンポ市場低迷による不振
その他	売上高	71	104	+33	EMS事業売上拡大
	営業利益	7	3	+4	
本社費・消去		23	26	3	
合計	売上高	970	1,118	+148	
	営業利益	150	131	+19	

**03年度第1四半期実績**

**03年9月中間期予想**

**外部顧客向け売上高**

(金額単位:億円)



← **金融ソリューション**

新紙幣対応ATMへの更新・改造の需要拡大

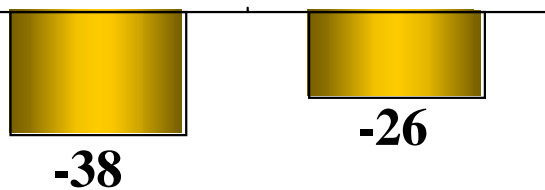
← **情報ソリューション**

← **プリンタ**

カラープリンタ売上好調

**営業利益**

ATM、プリンタの売上増および対ユーロ円安効果で12億円改善

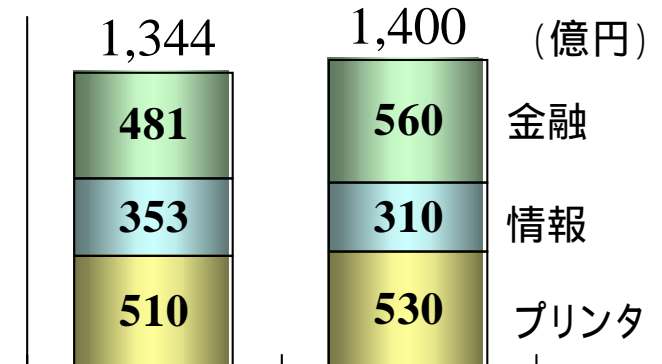


**営業利益**

- ATM、プリンタ等、売上については計画対比やや上振れで推移
- 対ユーロ円安効果もあり、営業利益も堅調に推移

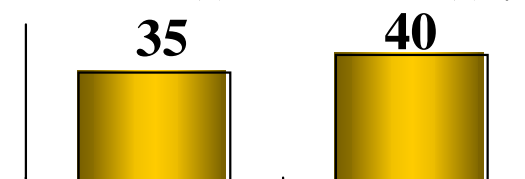
【参考:4月28日公表】

**外部顧客向け売上高**



02/9期

03/9期(予想)



**営業利益**

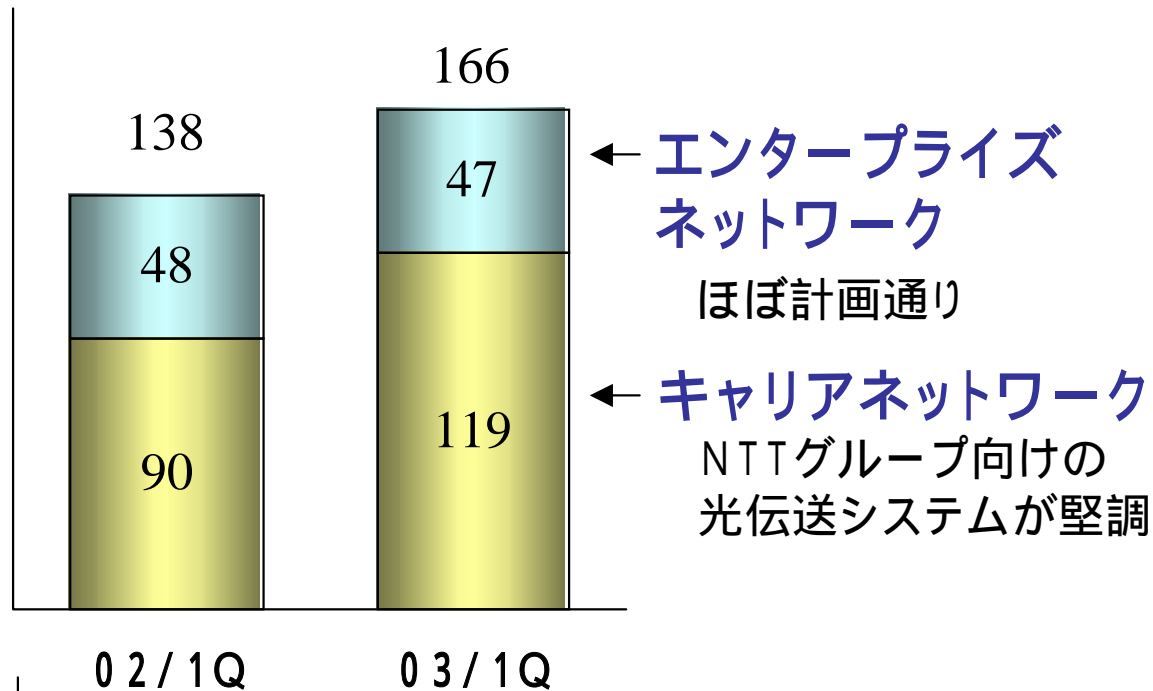
(金額については億円未満を四捨五入で表記)

**03年度第1四半期実績**

**03年9月中間期予想**

**外部顧客向け売上高**

(金額単位:億円)



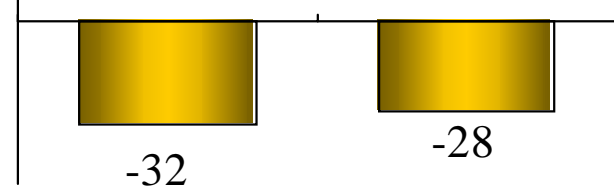
← **エンタープライズネットワーク**

ほぼ計画通り

← **キャリアネットワーク**  
NTTグループ向けの光伝送システムが堅調

**営業利益**

売上増加、構造改革等により4億円改善



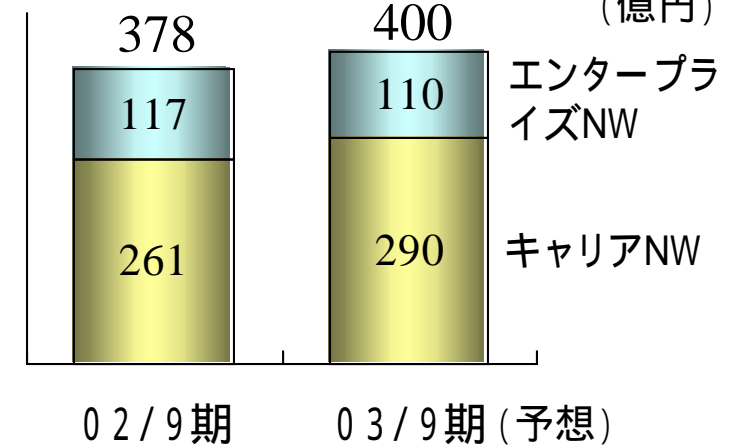
**営業利益**

- ▶ 売上については光伝送が計画対比で良化の見込み
- ▶ 構造改革の効果で収益力は着実に回復

【参考:4月28日公表】

**外部顧客向け売上高**

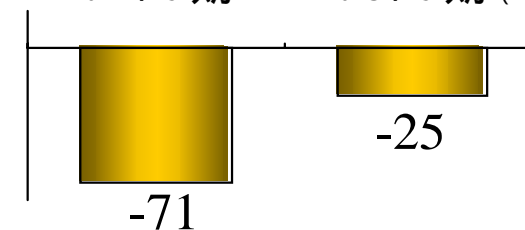
(億円)



エンタープライズNW

キャリアNW

02/9期      03/9期 (予想)



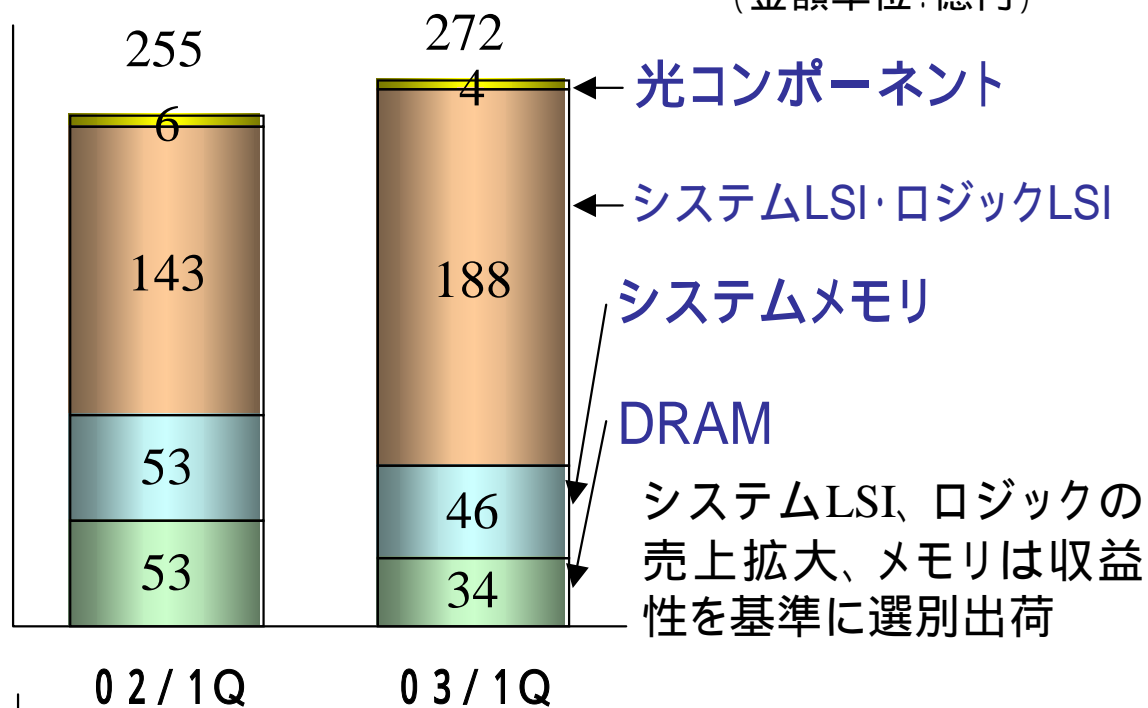
**営業利益**

(金額については億円未満を四捨五入で表記)

## 03年度第1四半期実績

### 外部顧客向け売上高

(金額単位:億円)



光コンポーネント

システムLSI・ロジックLSI

システムメモリ

DRAM

システムLSI、ロジックの売上拡大、メモリは収益性を基準に選別出荷

02/1Q

03/1Q

### 営業利益

三陸南地震被害、光コンポーネントの不振により2億円の改善にとどまる

-50

-48

営業利益

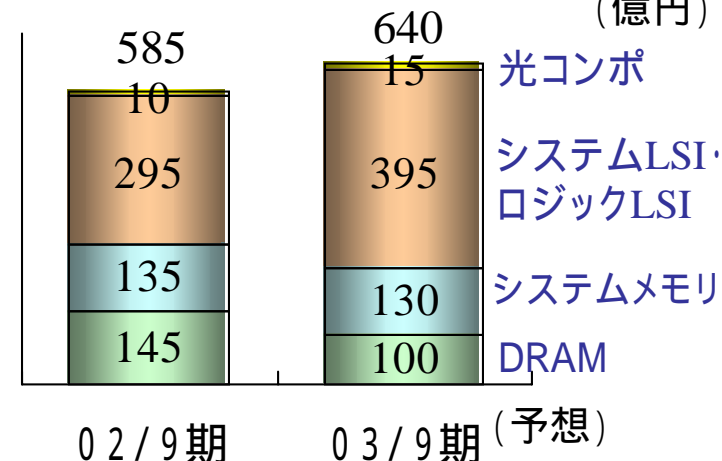
## 03年9月中間期予想

- 2度に亘る地震の影響で売上高は未達の見込み
- 音源LSIやドライバ等受注は活況
- 営業利益は地震の影響および光コンポの不振で悪化の見込み

【参考:4月28日公表】

### 外部顧客向け売上高

(億円)



光コンポ

システムLSI・ロジックLSI

システムメモリ

DRAM

02/9期

03/9期 (予想)

-17

-15

営業利益

**【03年9月 中間期業績予想 = 当期純損益のみを修正】**

- 第1四半期については4月28日の公表ベースに対し概ね順調に推移
- 第2四半期は三陸南地震および宮城県北部地震の影響でデバイス部門の売上高および営業利益は計画未達の見込みだが、情報及び通信部門でリカバリ可能
- 三陸南地震および宮城県北部地震の影響で、当社子会社の宮城沖電気で特別損失30億円が発生見込みのため、当期純損失は20億円悪化し105億円の見込み

**【04年3月期 通期業績予想 = 4月28日公表通り】**

- 通期の業績見込みについては、今後、経常利益段階での業績改善に努めることで、中間期の悪化分を回復する。通期業績予想は4月28日の公表通り

**【設備投資・R & D・減価償却費】**

- 4月28日の公表ベースで推移、当初計画通りで変更無し

**【国内従業員の状況】**

年間900名減少の予定に対し、ほぼ計画通り進捗

	(千人)		
	03.3末	03.6末	増減
沖電気単独	6.1	5.8	0.3
国内関係会社	12.2	12.2	0
合計	18.3	18.0	0.3

## ● 中間期は税引前利益と当期純損益のみを修正、通期予想は4月28日公表通り

【連結】 (金額単位:億円)	中間期			通期		
	02/9期実	03/9期 前回予想	03/9期 今回予想	03/3期実	04/3期予	前期比(%)
売上高	2,506	2,650	<b>2,650</b>	5,855	6,300	7.6
情報	1,344	1,400	<b>1,400</b>	3,304	3,450	4.4
通信	378	400	<b>400</b>	857	950	10.8
デバイス	585	640	<b>640</b>	1,192	1,350	13.2
その他	199	210	<b>210</b>	502	550	9.7
営業利益	106	60	<b>60</b>	14	200	-
情報	35	40	<b>40</b>	198	250	26.0
通信	71	25	<b>25</b>	82	10	-
デバイス	17	15	<b>15</b>	10	40	-
その他	2	0	<b>0</b>	10	20	96.5
本社費・消去	51	60	<b>60</b>	102	120	-
経常利益	158	110	<b>110</b>	78	110	-
税引前利益	185	140	<b>170</b>	35	60	-
当期純利益	115	85	<b>105</b>	66	35	-

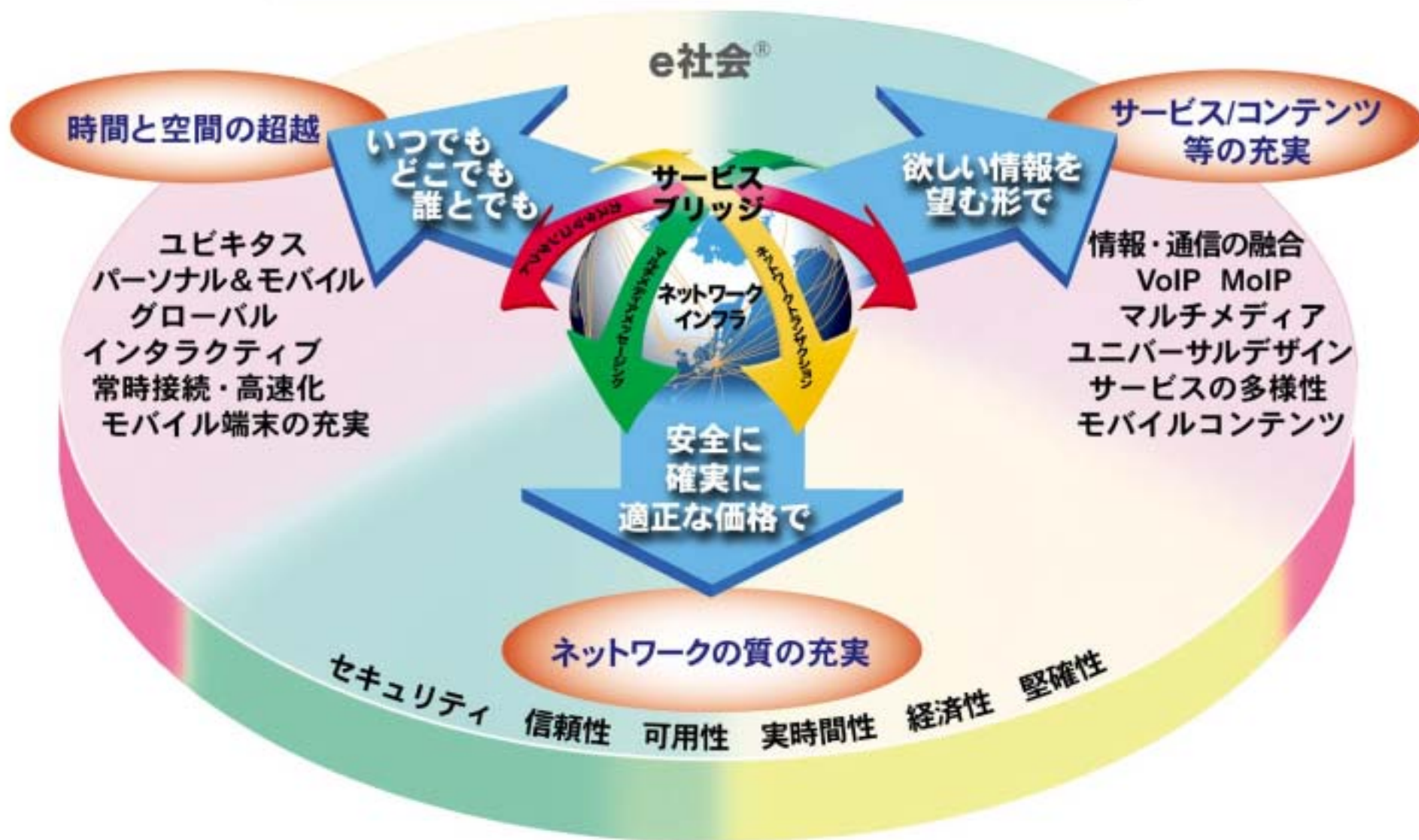
(注) セグメント別売上高は外部顧客向け売上高

(金額については億円未満を四捨五入で表記)

# ネットワークの目指すところ

—「ネットワークソリューションの沖電気」の基本思想—

グローバルなネットワークにより社会、経済、産業構造が変化



本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。